

三菱電機ロジスティクス労働組合 第55回定期大会 報告

8月24日（金）、25日（土）の日程で第55回定期大会を開催しました。

2年間の活動を確認するとともに、今後2年間の運動方針を提案し、すべての議案が可決・承認されました。

今回の大会は、台風の接近・上陸という過去にない悪条件の中で開催しましたが、幸い事故もなく無事に開催日程を終えることができました。



<委員長挨拶>



渡邊中央執行委員長

本定期大会は今後2年間の活動方針についてみなさんと忌憚のない意見交換をしながら、より骨太の活動方針として取り組んでいくことを決定する重要な会議である。労働組合の最高決議機関がこの定期大会である。是非、みなさんの活発な意見要望によってこの大会が成功するようにお願いします。

この4月から所定内労働時間の短縮が実現された。所定内労働時間の短縮の目的はあくまでも総実労働時間を縮減していくことであることを本日皆さんと認識を合わせておきたい。現在、職場は繁忙を極めている一方で、労働時間短縮の取り組みをしていかななくてはいけない。是非、みなさんと知恵を出し合いながら取り組んでいきたい。

ここ数年、30歳前後を中心とした組合員の退職が非常に増えている点を懸念している。退職または転職している真の理由が何なのかを真剣に把握する必要がある。特に職場の役員のみなさんにはこの点についてはますますご協力をいただかなければいけないので、改めてお願いさせていただく。

労働組合は私達の労働条件、職場環境、ひいては安定した家庭生活の向上のために活動に取り組んでいることはいままでのない。しかし、ひとつの労働組合だけでは解決できない事案も多く存在することも現実である。私達労働者も同じように労働者の意見要望を国政に反映させていく議員を議論の場にする必要があるのではないかということである。改めて組合員のみなさんの絶大なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上

<大会構成>

代議員定数 30名

本部役員 6名